嘉麻市長 赤間 幸弘 殿

嘉麻市の国民健康保険の運営に関する協議会

会長 _____

答 申 書 (案)

令和6年10月1日付け、6嘉市第1835号で諮問を受けた事項について、当協議会で慎重に協議した結果、下記のとおり答申します。

記

当協議会の答申の具体的項目

◎ 国民健康保険税について

令和7年度嘉麻市国民健康保険税の税率・税額については、現行のまま据え置きとし、現在の累積赤字の解消を考慮した、令和8年度に向けた税率・税額の改正の検討を要請する。

(理由)

令和5年度嘉麻市国民健康保険特別会計は単年度赤字が発生し、抱える累積赤字も約3億4千万円に増えたことに対し、税率・税額の改正の必要性について協議を行ったが、物価が高騰する中、2年続けての改正は家計への影響、また被保険者への負担が大きいと考え、令和7年度の改正は見送ることとした。しかし、令和6年度の決算状況を鑑み、令和7年度は、8年度改正に向けた検討が必要であるという結論に至った。

◎ 赤字削減・解消計画書の策定について

保険税改正を前提にせずに、様々な観点から収入の増加及び支出の減少に取り組み、計画を策定することを要請する。

(理由)

現在抱える累積赤字約3億4千万円を、福岡県保険料水準統一目標である令和17年度までに解消しなければならないことは十分に理解できる。しかし、上記でも述べたが税率・税額の改正が被保険者に与える影響は非常に大きいと思われ、国民健康保険税の税率・税額の改正を第一に赤字削減・解消計画を策定することのないよう要望する。

また、下記の具体的な取組を行い、赤字削減・解消に取り組んでいただきたいという結論に至った。

- ・ 特定健診及び保健指導の実施率の向上、またその充実を図ることで、医療費の削減を目指し、県への納付金減少による支出削減に取り組む。
- ・ 保険者努力者支援制度の内容を精査し、他自治体を参考にするなど、積極的に交付金獲得に取り組む。
- ・ 税務課との連携を密にし、徴収率向上による収入増加に取り組む。

【近年の決算収支状況】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4年トータル
経常収支	9,555万円	4,076万円	6,701万円	△3,021万円	1億7,311万円
実質収支	2,209万円	6,046万円	3,053万円	△2,783万円	8,525万円
累積赤字	4億777万円	3億4,731万円	3億1,678万円	3億4,461万円	

2. 結びに（令和7年度以降の国民健康保険特別会計のあり方について）

近年、単年度黒字だった国民健康保険特別会計が赤字に陥ったことは、被保険者が減ったことによる国民健康保険税収入の減少が主な原因である。しかし、今後も被保険者数の減少は避けられず、収入は減っていくものと思われる。

収入の減少が見込まれる中で、福岡県保険料水準統一に向けて、赤字削減・解消に取り組まないといけないため、国民健康保険税の税率・税額改正も必要であると理解できるが、赤字削減・解消に向けて、行政としても様々な努力を行うことを要請する。

また、令和7年度の国民健康保険税率・税額は据え置きとするが、7年度は、被保険者数や市町村標準保険料率、国の動向等を注視し、市民生活の影響について留意した上で、税率・税額改正については十分に検討するよう要請して答申の結びとする。